

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、中央検査部では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。この研究は、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社の受託研究で行います。

[研究課題名]

医療従事者用の血糖測定器「cobas pulse」と臨床における検査管理システム「infinityPOC¹」の基礎的評価

1 POC：臨床現場即時検査（患者さんのベッドサイドで行う検査を意味します。）

[研究対象者]

倫理審査委員会承認後から2025年12月の間に東京女子医科大学病院に通院または入院中の患者さんを対象とする。

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：入院中または通院中の血液検査オーダーの入っている患者さんで残余検体が1.0mL以上残っている患者さん

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、検査結果等

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社が開発した、コバスパルスソリューションは、新しいPOC血糖測定器であり、それが日常臨床に利用できるかどうか、装置の基本的な精度や性能を評価します。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2025年12月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦ひとみ

受託機関責任者：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

ヘルスケアエクセレンス本部

メディカルサイエンティフィックアフェアーズグループ マネジャー

溪本 哲也

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦ひとみ

電話：03-3353-8111（対応可能時間：平日9時～16時） 内線 38531